

元気いっぱい 夢いっぱい

3年間ありがとうございました！

校長からのお礼の言葉

無事終えることができました

皆様方の厚いご支援のお陰で、ニュージャージー補習授業校の3年間を無事終えることができました。

その最も大きな要因は、子どもたちが元気に笑顔で登校することが出来たことです。そして、それを支えていただいたご家庭の皆さまに感謝申し上げます。

子どもたちの頑張りに拍手



＜笑顔で元気な子どもたち＞ 補習授業校に通う子どもたちは、月曜～金曜は現地校、土曜は補習授業校に通っています。それに加えて各種の習い事、2つの学校からの課題などで忙しい1週間を過ごし、土曜日の夜は1週間の疲れがピークに達しているに違いありません。

特に宿題は、低学年のうちは少ない時間で済みますが、学年が進むにしたがって現地校から出される量が増えてきて苦勞していると思われます。

このように見てくると、補習授業校に通い続けるということは本当に大変なことだと理解できます。

しかし、この目一杯の時間の中での努力と忍耐力は、子どもたちの人格形成に新たな資質として加わり、これからの人生において必ずやプラスに働くに違いありません。今後もこの頑張りを是非とも続けていただきたいと思います。

保護者の皆さまへ感謝

補習授業校は保護者の皆さまのご支援なくしては成り立たない学校です。保護者の皆さまには、土曜日ごとに朝早くからのお弁当づくり、送り迎え、家庭での宿題や日本語指導、



＜父母の会役員会の様子＞

弥生(3月)です。今年雪の日が少なく、2日間の対策日を1日も使うことなく終えることができそうです。



＜春のパラマスコ校舎＞ 明日5日は二十四節句の啓蟄けいちつ。校庭の桜や桃の蕾もふくらみ、ここニュージャージーの春はもう目の前です。

「ひな祭りの集い」

3月3日は雛祭りの日です。2/25の午後、幼児部では「ひな祭りの集い」をすみれ組の教室で行いました。



＜幼児部の子どもたち＞

ひな祭りの由来や雛人形についてお話を聞いた後、自分で作った雛人形の紹介やクイズ、歌で日本の伝統文化を楽しく学びました。

毎年、父母の会(行事委員)の皆さまに準備していただいています雛人形の今年の展示は、父母の会室前で行われ、幼児部をはじめ多くの学年が鑑賞に訪れました。

卒業 おめでとう！

3月11日は本校の卒業式です。オーデトリウムにおいて、9時15分より幼児部年長組の修了証書授与式を行います。そら組13名、にじ組12名の合計25名の子どもたちが証書を受け取ります。



＜昨年の授与式の様子＞

また、11時から初等部6年生35名、中等部25名、高等部14名の合計74名が卒業証書を受け取ります。

午後からは、初等部、国際学級の「学習発表会」と「卒業を祝う会」が、各教室や北カフェで行われます。子どもたちの練習の成果をご覧ください。

授業準備等々と子どもの為とはいえ、大変なご苦勞をお掛けいたしました。

また、父母の会の皆さまにも大変お世話になりました。ピエリ会長をはじめとした8名の役員のみなさま、そして、資金調達委員、行事委員、図書委員、広報委員、運動会委員、クラス係とそれぞれの皆さまの働きのお陰で円滑な学校運営を行うことが出来ました。皆さま、本当にありがとうございました。

4月からは新しい校長、教頭と共に、よりよいNJ補習授業校を目指して、更なるご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

※以下、私が担任の折、懇談会でしばしば話をさせていただきました「子育て10か条」を掲載いたします。



私の子育て10か条

- 1 親が子どもに躰けなければならない一番大切なことは、根気である。
- 2 便利なものは与えるな、少々不便な生活を与えておけ。
- 3 聞かれても答えるな。子どもが自分の頭で答えを出してからにせよ。
- 4 ここ一番、悪いときにはガッチリ叱れ。叱った後に目をかけよ。
- 5 早寝早起きは三文の得。
- 6 親の小さいときの話をたくさんしてあげよ。
- 7 子どもの小さいときの話を詳しく知らせよ。
- 8 家の手伝い、仕事をつくって毎日させよ。
- 9 他人の痛みのわかる心を育てよ。
- 10 旅をさせろ。他人の飯を食べさせよ。

2017, 2, 25

— ピーク・エンドの法則 —

人間は、過去の経験をピーク（最良又は最悪）とエンド（どのような終わり方をしたか）によって判断しているという理論です。

ある経験の「印象」は「全ての経験の総和」ではなく、ピークとエンドの情報が使われている。ということです。

ダニエル・カーネマン（プリンストン大学教授、2002年ノーベル経済学賞受賞）

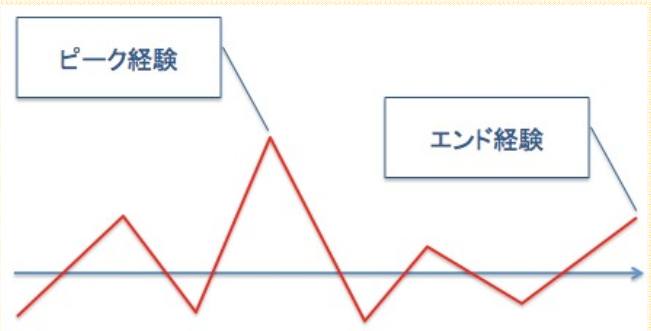
この法則は、様々な場面で応用できます。

恋愛：途中に心地よいピーク経験を演出し、別れ際にエンド経験（あとひきしぐさ）を使うと効果的です。

「あとひきしぐさ」＝人と別れた後、少し離れてからもう一度振り返って会釈すること。

授業での応用：授業を組み立てる時、ピーク経験を創り出すネタとエンド経験（まとめ方）を考えます。

この2点をしっかり押さえた授業は子どもたちの記憶に残る授業となり、学力向上にも役立ちます。



2014, 12, 20

今後の主なスケジュール

4月8日 入学式、始業式、教科書配布

※事務所のクローズ期間

3月19日（日）～3月26日（日）

連絡はメールでお願いいたします。

